

目黒区保健医療福祉計画
(令和6～10年度)

令和7年度末時点の実績・計画目標
に対する評価報告

健康福祉部 健康福祉計画課

目黒区保健医療福祉計画（令和６～１０年度）は、基本計画の補助計画として位置付け、高齢者、障害のある人、子どもなど全ての区民を対象とした保健医療福祉施策を総合的に推進するための基本となる計画です。

計画に掲げた施策を着実に推進していくため、PDCAサイクル（計画、実行、評価、改善）を通じて、施策に基づく事業が効果的・効率的に実施されているかを毎年度、点検し、必要に応じて取組の改善等を行っています。

この評価表は、計画に掲載した事業のうち、種別が『新規事業』『重点事業』を対象に、区が、令和７年度末時点の実績をまとめ、計画で立てた目標や事業実施の効果について評価を行ったものです。

《対象とする事業》

目黒区保健医療福祉計画（令和６～１０年度）に掲載した事業のうち、種別が「新規事業」「重点事業」の計６８事業

《評価方法（事業別評価表の見方）》

- 事業名：評価の対象となる事業の名称とその種別
- 事業概要：事業の概要
- 令和５年度実施状況：現計画の策定時である令和５年度の事業実施状況
- 事業目標：計画で設定した目標（前期：令和６～８年度、後期：令和９～１０年度）
- 計画事業の実績等（令和６～７年度）：事業実績や取り組み等を記載しています。
- 前期目標に対する評価：計画期間の前期の目標に対し、令和７年度末時点でどの程度達成したかを以下の基準により AA～Dの５段階で評価しました。
- 効果又は評価の理由：事業の目的に即して、その実施効果や上記評価とした理由を記しています。
- 今後の課題及び事業推進の方策：事業の今後の課題や目標の達成などに向けた事業推進の方策を記しています。

《評価基準》

AA	目標を上回り達成した ○量的な数値目標がある事業＝目標とする量を上回り達成した。 ○数値目標がない事業＝対象者の拡大、支援やサービスの質の向上、区民ニーズへの対応などにより事業内容がかなり充実し、目標を上回る成果があった。
A	達成した・おおむね達成した ○量的な数値目標がある事業＝目標とする量を達成した、又は目標の７～９割程度を達成した。 ○数値目標がない事業＝対象者の拡大、支援やサービスの質の向上、区民ニーズへの対応などにより事業内容が充実し、目標を達成した、又は目標をおおむね達成した。

B	ある程度達成した ○量的な数値目標がある事業＝目標の４～６割程度を達成した。 ○数値目標がない事業＝対象者の拡大、支援やサービスの質の向上、区民ニーズへの対応などにより事業内容がある程度充実した。
C	少し達成した ○量的な数値目標がある事業＝目標の２～３割程度を達成した。 ○数値目標がない事業＝事業内容の充実がわずかにあった等
D	達成していない ○事業の実施あるいは検討に至らなかった・充実すべき課題の検討に至らなかった等